



# 寄港地情報

## マラガ (Malaga) / スペイン



※船内テレビ10CH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。【4月27日（準備が出来次第）～29日放映】

入港日時： 4月30日（月） 08：00

出港日時： 4月30日（月） 22：00

着岸岸壁： マラガクルーズターミナル (Malaga Cruise Terminal / Muelle de Levante)

最終帰船時刻： 4月30日（月） 21：00

シャトルバス： 運行はありません（港内バスと、ターミナル連絡バスをご利用ください）

飛鳥デスク： ターミナル連絡バスの乗降場所付近に、日本語を話す係員が待機しています。

### ■緊急連絡先■

「飛鳥Ⅱ」： ①Tel: 00-81-80-1121-6937（携帯電話/寄港中のみ）

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755

現地手配旅行会社： ミカミトラベル (MIKAMI TRAVEL)

担当： 村部 Tel: 00-34-676-450-098（携帯電話/日本語可）

在スペイン日本国大使館： Tel: 00-34-91-590-7600

※海外で利用可能な自動ローミングされる日本の携帯電話から掛ける場合、91からダイヤルしてください。

日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

<日本へ電話をかける場合>

00（国際電話識別番号）- 81（日本の国番号）-（0を除いた市外局番）-（相手先の電話番号）

### 寄港する港の特徴

**港周辺** コスタ・デル・ソルの海岸一面に純白の建物が集まった大都市マラガはグアダルメディナ川の河口に位置しています。マラガは非常に古い街で最初の集落の場所は「フェニキア」「ギリシャ」「ローマ」時代はもちろんのこと歴史に刻まれる前の古い時代から存在したとされています。港内シャトルバスの乗降場所から街中までは徒歩圏内です。

### 気候と服装

**気候情報** 4月の平均最高気温：22℃ 平均最低気温：12℃

**服装のアドバイス** 先日のバレンシアとほぼ同様ですが、日中と朝夕の気温差が激しい日もあります。

外出の際は羽織る物をお持ちください。

### 時差

**日本との時差** 日本標準時より7時間遅れています。（マラガの正午は、日本時間の午後7時）

※マラガではサマータイムが導入されています

### 治安

**外務省海外安全情報** 現在マラガには危険情報は発出されていません。

**治安情報** 市内ではスリ、置き引き事件が多く発生しています。貴重品の管理には充分ご注意ください。

**外出時の注意** 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

### 通貨と両替

**現地通貨** ユーロ（€） 補助通貨はユーロセント（¢）

**日本円との換算額** 1€=100¢=約135円（2018年4月現在）

**両替情報** アメリカドル、日本円は基本的に利用できませんので事前に船内でユーロへの両替をお勧めします。

※5 テッキ・レセプションにて100ユーロパックの販売を行っております。（¥13,500）

※船内では日本円への最両替はできません。



## チップ

**習慣の有無** スペインでは、チップを渡す習慣があります。（義務ではありません）

**金額の目安** サービスチャージの加算されたレストランではチップが伝票に含まれていますが、もし含まれていない場合は、おつりの小銭を渡す程度です。

## タクシー

**港のタクシーの有無** クルーズターミナル外からご利用いただけます。

**「飛鳥Ⅱ」～市街地間の目安** ピカソの生家（距離：約3 km、所要時間：約15分、料金目安：約€8）

**市街地からの利用**：手をあげれば止まってくれます。またはタクシースタンドをご利用ください。

**料金制度** メーター制です。支払いの際は料金の端数を切り上げる程度でよいでしょう。

英語がわかる運転手は少ないため、行き先を地図で示すのが確実です。

## 飲料水

**現地の水の安全性** ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

※ミネラルウォーターには、ガス入り（Con gas という表記）とガスなし（Sin gas という表記）があります。

## トイレ事情

**市街地での利用** ホテルやレストラン、ショッピングセンター等での利用をお勧めします。

またチップ制のトイレも多く大体1回50セント程です。カフェなどのトイレは何か注文すれば無料で借りられます。

スペイン語でトイレは Servicio(セルビシオ)、男性が Caballeros(カバリエロス)、女性が Senoras (セニョーラス)と表示されています。

## お買い物

**一般商店営業時間の目安** 10:00～14:00/17:00～20:00 頃（店舗によって異なります）

**港周辺のお店** 港のゲート入り口から市内までは徒歩圏内です。お買い物もお楽しみ頂けます。

**お土産一例** ワイン（スペインは世界第3位の生産量）、ロエベ（革製品）、リャドロ（陶製品）、トウス（ジュエリー）、ザラ、マンゴ（洋服）など。

## その他

**港内バスについて** 本船から港のゲート入口までは距離がございますので、お出掛けの際は港内バス、ターミナル連絡バスをご利用ください。

**港内バスは、ターミナルから出発します。飛鳥Ⅱからターミナル間は徒歩移動禁止ですので、ターミナル連絡バスにて、ターミナルまでおこしてください。**ゲート入口から街までは徒歩圏です。

**シエスタについて** スペインでは、昼休みの習慣があり、昼間に一旦店を閉める商店が多くあります。一般的には14時～17時頃までが昼休みの時間です。

**免税手続きについて** スペインでは一店舗で90.16ユーロ以上お買いものをした場合、免税の対象となります。購入されたお店で手続きをしていただいた後、書類を受け取り、商品（未使用であることが条件）と一緒に保管してください。免税手続きの詳細は、別途お配りしました「ヨーロッパでの免税手続きに関するご案内」をご覧ください。

### ショッピング上のご注意

- ◆ワシントン条約（絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約）で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。（規制代表例：象牙・トラなどの毛皮や敷物、ジャコウシカ・クマなどを含有する漢方薬など）
- ◆医薬品や化粧品は数量制限があります。（内服薬2ヶ月分以内、外用薬・化粧品は24個以内など）
- ◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。
- ◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできませんのでご注意ください。
- ◆植物類（生鮮野菜や果実、米）は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。
- ◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。

## 現地語ひとこと会話

ありがとう グラシアス (Gracias)

こんにちは オラ (Hola)

さようなら アディオス (Adios)



## 4/30 マラガ港 周辺のご案内

4/30(月)「飛鳥Ⅱ」が入港しますマラガの主な観光地の詳細を以下にご案内いたします。

ターミナル ⇄ 市街地入口は距離がありますので、「港内バス」をご利用ください。

※ 下記①～⑥の番号は裏面地図の番号です。

※ 下記の営業時間や料金などは予告なく変更になる場合がございます。

### ① ヒブラルファロ城 \*ターミナルから、タクシーで約20分

アルカサバの先に続く要塞として14世紀に建造され、砦として街を守ってきました。内部は城壁に沿って一周することが出来、小さな博物館もあります。小高い丘の上にありますマラガの街並みや地中海を一望できる絶景ポイントです。 オープン時間：09：30～20：00 入場料/3.3ユーロ(アルカサバとの共通券)

### ② アルカサバ(要塞) \*市街地入口から、徒歩約15分

11世紀、グラナダを支配していたイスラムの王バディスの命により築かれた要塞です。当事、三重の城壁や矢倉、屈強な兵士たちに囲まれた要塞は難攻不落の要塞といわれました。現在はイスラム様式の宮殿の一部と庭園が残っています。

オープン時間：09：30～20：00 入場料/3.3ユーロ(ヒブラルファロ城との共通券)

### ③ ローマ劇場 \*市街地入口から、徒歩約15分

アルカサバを建てる際に、この遺跡の石柱が利用されました。現在修復中で内部の見学はできませんが、鉄柵越しに外観を見ることはできます。

### ④ ピカソの生家 \*市街地入口から、徒歩約20分

1880年から4年間ピカソの家族が住み、1881年にピカソが生まれた家です。現在は美術館に改装され、ピカソの絵画や陶器の他同じく画家であった彼の父が描いた油絵や当時の家具、ピカソの写真等を展示しています。 オープン時間：09：30～21：00 入場料/3ユーロ

### ⑤ ピカソ美術館 \*市街地入口から、徒歩約20分

ピカソの親族から寄贈された作品を中心に油絵や彫刻、デッサンなど約240点を年代別に展示しています。建物は16世紀に建造されたアンダルシア建築のプエナビスタ伯爵邸で国の文化財に指定されています。

オープン時間：10：00～19：00 入場料/9ユーロ(常設展と特別展との共通券)

### ⑥ カテドラル \*市街地入口から、徒歩約15分

1528年カトリック両王の命によりイスラム寺院跡地に建築が開始され、1728年に南の塔が未完成のまま工事が終了しました。ゴシックやバロックなど様々な建築様式が混在しており、内部には17の礼拝堂や博物館があります。

オープン時間 10：00～17：00 入場料/6ユーロ

【飛鳥デスク】現地事情に詳しい係員がお客様のご質問にお答えします。

場所：港内バス乗降場所付近に、日本語を話す係員が待機しています。

オープン時間：09：00～12：00 / 13：00～17：00

【タクシーでお帰りの場合は・・・】

タクシーで「飛鳥Ⅱ」へお帰りの際には、下記スペイン語をタクシー運転手にお見せください。

「私を新旅客ターミナルBまで連れて行ってください」

*“Ll veme al Crucero del Terminal nuevo de cruceros B, por favor.”*

(タクシー下車後、ターミナル ⇄ 飛鳥Ⅱ は「ターミナル連絡バス」にて飛鳥Ⅱまでお戻りください)



### ■ 緊急連絡先 ■

外出の際は携帯電話と共にこの緊急連絡先を必ずご持参ください。

※国際電話のかけ方は「寄港地情報」にてご確認ください。

「飛鳥Ⅱ」着岸岸壁：マラガクルーズターミナル (Malaga Cruise Terminal Muelle de Levante)

最終帰船時刻：21:00

「飛鳥Ⅱ」：①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755

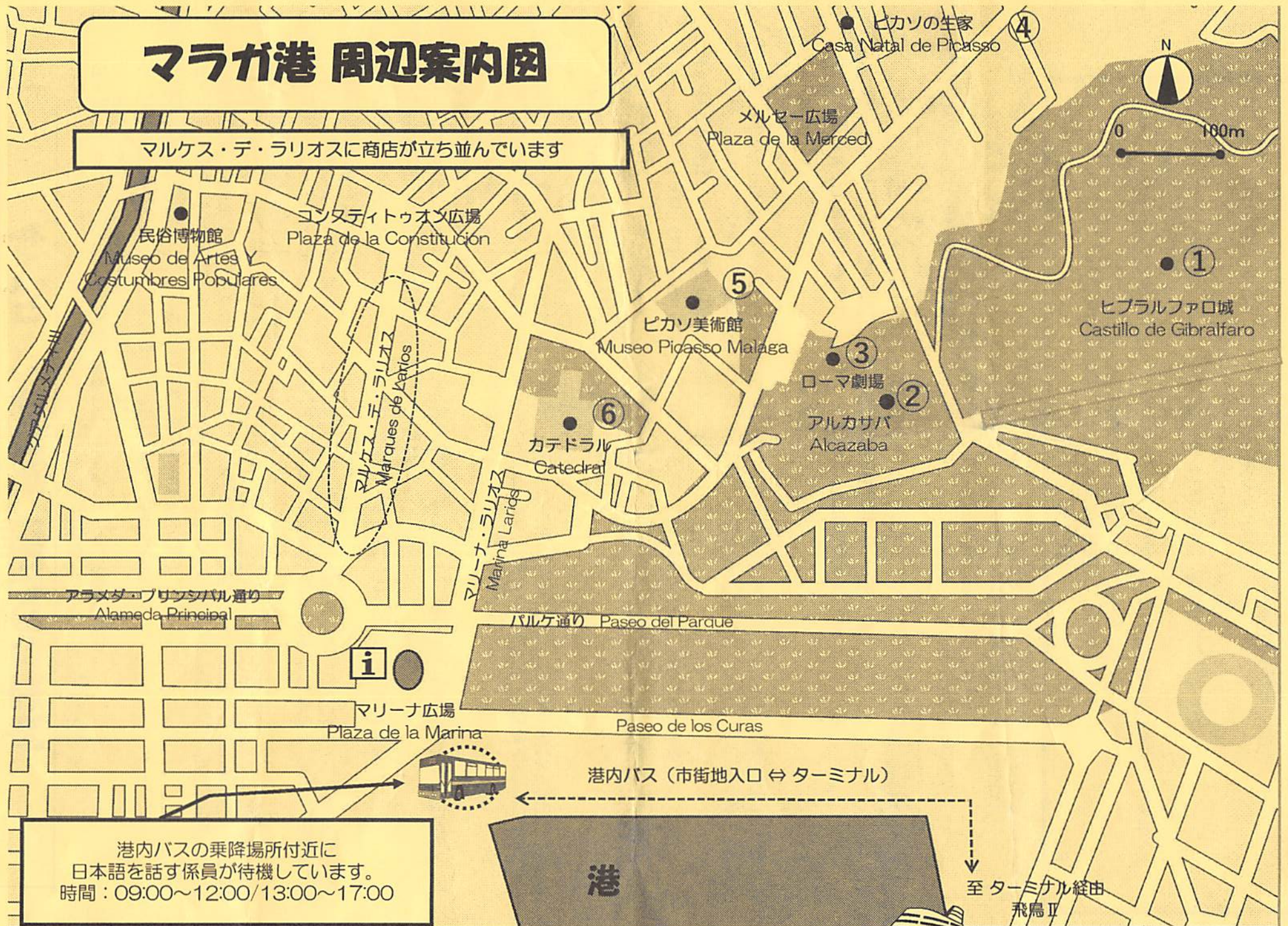
現地手配旅行会社：ミカミトラベル (MIKAMI TRAVEL)

担当：村部 Tel: 00-34-676-450-098 (携帯電話/日本語可)



# マラガ港 周辺案内図

マルケス・デ・ラリオスに商店が立ち並んでいます



港内バスの乗降場所付近に  
日本語を話す係員が待機しています。  
時間：09:00～12:00/13:00～17:00

港内バス（市街地入口 ⇄ ターミナル）

至 ターミナル経由  
飛鳥Ⅱ



# マラガ上陸のご案内

4月30日(月) マラガに入港致します。

- 飛鳥Ⅱが着岸している岸壁は徒歩での移動が禁止されています。
- お出かけの際は、飛鳥Ⅱの岸壁よりターミナル連絡バスをご利用頂き、ターミナルまでお越しください。ターミナル連絡バスは適宜、飛鳥Ⅱ～ターミナル間を所要2分程で往来しています。(最終帰船時刻まで運行します。)

※タクシーはターミナルから発着します。飛鳥Ⅱ着岸場所までは進入できません。

※ターミナル連絡バスは乗組員も同乗させていただきます。

- ターミナルから市街地までは、3.5キロの距離です。距離が離れているため、【ターミナル】～【市街地入口】を結ぶ港内バスのご利用が便利です。

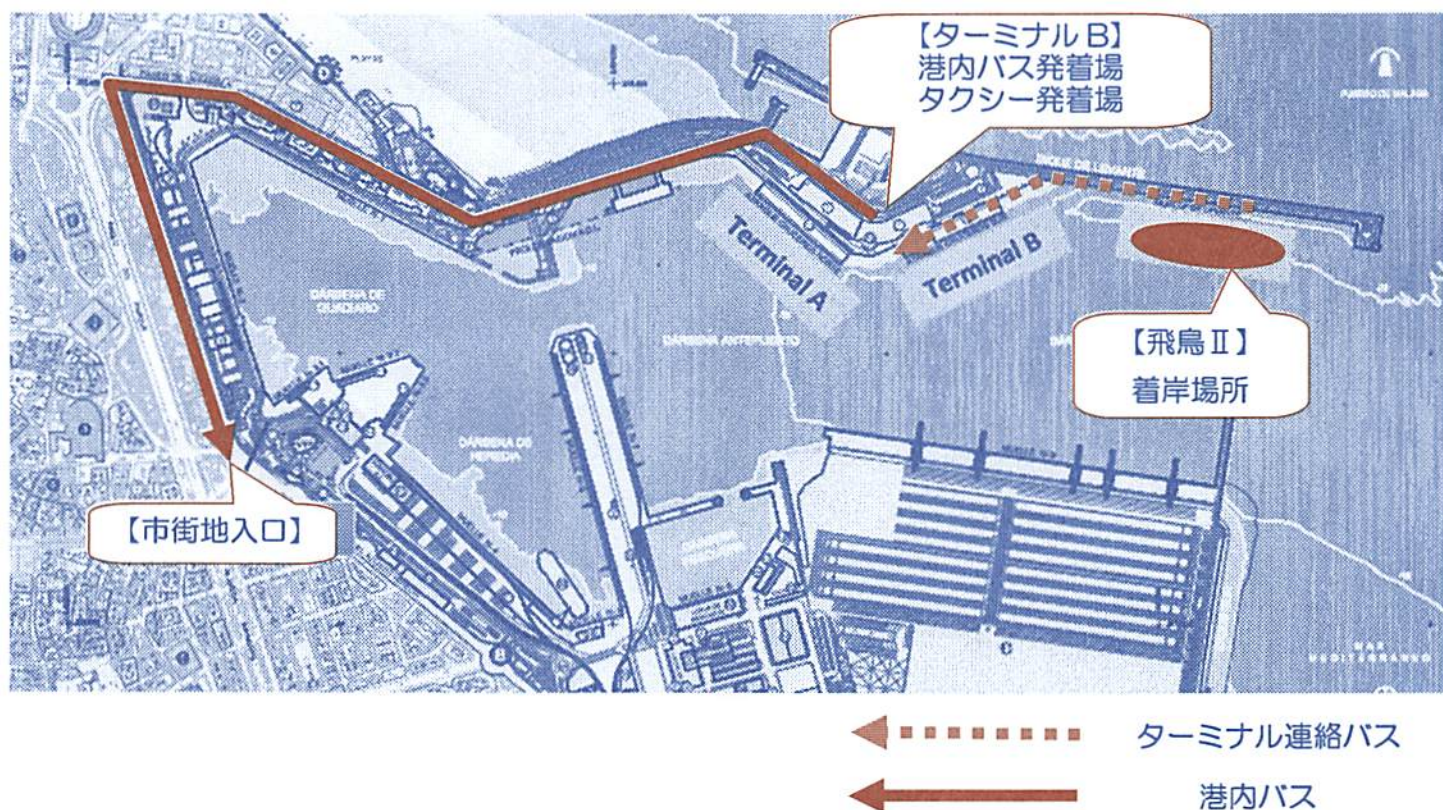
所要時間：ターミナル⇄市街地入口(約10分)

運行時間：09:00～20:30 (市街地入口発ターミナル行 最終20:30)

運行間隔：約20分～30分間隔で適宜運行致します。

- オプションツアーバスは船が着岸している岸壁から出発しますが、帰着の際は荷物検査をお受け頂く関係でターミナルに帰着します。

ターミナルから飛鳥Ⅱへのお戻りはターミナル連絡バスをご利用ください。



スリ・置き引きなどに充分ご注意のうえ、マラガでの楽しい時間をお過ごしください。

レセプション (内線 2525)